



KONICA MINOLTA

HONDA



Driver Stand 2りんかん



UNDER ARMOUR
PERFORMANCE APPAREL



The Nutrition Behind Performance™



PINS
FACTORY®

A-STYLE GRAND PRIX OF JAPAN

2007年 MotoGP 世界選手権シリーズ 第15戦

茂木(日本)[9月23日(日) 決勝 天気 雨]

#56 中野真矢 [予選12位 決勝16位 総合ランキング17位]

予想以上に気温が上がり、タイヤチョイスそしてセッティングも難しく苦労したが、予選は最終的に12位まで順位を上げて決勝へ臨んだ。

決勝日は一転雨となり、ウェットでのスタートとなった。

雨のレースは波乱の展開になることが多い

ので、前半は様子を見ながらだったが、まずまずのペースで走っていた。

しかし、途中から路面が乾き始め、ピットインしてマシンを代えるライダーが出てきた。

自分もピットに入ったのだが、少し入るタイミングが遅く順位を落としてしまった。

その後、スリックタイヤでの走行となったが、ハーフウェットの路面で最後までペースを上げることができずゴールとなってしまった。

母国 GP で納得がいく成績を上げられず非常に悔しいが、たくさんのファンの方が応援してくれ励ましてくれたので、残り3戦も頑張っていきたい。



ジャンルカ・モンティロン (コニカミノルタホンダチーム 監督)



こういうコンディションの中では、ライダーは序盤に状況を把握する時間があるが、我々は、そこで少し時間をロスしたかもしれない。

しかし、2、3週のうちに真矢はいいラップで走行をし始めた。

路面が乾き始めてから、ライダーはマシン交換をするタイミングを決め

なければならなかった。

真矢はいいタイミングで入ってきたように思ったが、その後、我々のマシンパッケージではいいフィーリングが得られなかったようだ。

スポンサーにとってのホーム GP で、残念な結果だった。

OfficeFourEight
© shinya56.com